

平成22年度 施政方針

「市民と行政のパートナーシップ」による

新たなまちづくりへ



袋井市長 原田英之

新市の誕生からこの4月で5年が経過します。この間、市民と行政との協働のもと「合併してよかった」と思えるまちづくりに全力を挙げて取り組み、多くの市民の皆様のご理解とご協力により、順調に市政を進めていくことができました。地域主権が叫ばれる中、改めて市民の皆様と共有したい大きな思いは、「市民と行政のパートナーシップ」による新たなまちづくりです。この思いの実現に向け、「安全・快適な生活環境づくり」「活力ある地域づくり」「市民の力が活きるまちづくり」を重点政策分野として、本年度の市政運営に取り組んでまいります。また、袋井市の豊富な農業資源を活かし、健康的で質の高い生活を送るための仕組みづくりにも着手してまいります。

平成22年度 施政方針のキーワード

安全・快適な生活環境づくり

◇暮らしの質を向上させることで、将来に希望の持てる、安全で快適な生活環境をつくります。

活力ある地域づくり

◇農工商の産業横断的な連携により、新しい価値、新しい活力を創出する仕組みづくりを目指します。

市民の力が活きるまちづくり

◇市民が主体的に行政に参画する仕組みづくりにシフトし、市民の力による自立的なまちづくりを目指します。

農を活かしたまちづくり

◇豊富な農業資源をまちづくりに活かすことで、生活の質を高め、健康的な人生をたのしく彩る「スローライフ」を提案します。

平成22年度の重点施策

企画政策課 ☎44-3105

◇主な事業は、本紙67ページの「主要な事業と予算」で紹介しています。

子育て・教育・徳育の応援態勢の充実

- ・（仮称）愛野幼稚園施設整備事業や（仮称）市中央部保育所建設事業により、待機児童の解消に努めます。
- ・これまでの9幼稚園に加え、山梨幼稚園でも預かり保育を実施します。
- ・認可外保育施設の保育環境充実のため、「認証保育所制度」を設け、運営費を補助するとともに、保護者の保育料負担を軽減します。
- ・「保育ママ事業」を引き続き実施し、幅広い保育ニーズの充足に努めます。
- ・5月開館のメロプラザ内に、南部地域の子育て拠点となる「親子交流広場」を設置します。

- ・「子ども手当」を支給するとともに、平成22年10月保険診療分から、小中学生の入院医療費も「乳幼児等医療費助成制度」で全額助成します。



親子交流広場

医療体制と保険事業の充実

- ・平成25年春の新病院開院を目指し、掛川市との連携を密にして精力的に取り組みます。
- ・国民健康保険事業の経営基盤安定化を図ります。
- ・在宅介護支援金や介護支援ボランティア制度の導入など、介護支援事業を充実させます。

子どもたちに誇れる環境の保全

- ・「新エネルギー機器導入促進奨励事業」における住宅用太陽光発電システム導入への助成制度を拡大します。



- ・「アースファミリー事業」や「環境教育モデル校等推進事業」を進め、家庭や子どもたちの環境意識を高めます。
- ・「市民環境ネットふくろい」この協働事業の推進など、生活に密着した取り組みを進めます。
- ・「緑の基本計画」の策定により、生活にうるおいをもたらす緑豊かな生活環境の形成に努めます。

災害対策のさらなる推進

- ・「既存建築物耐震性向上事業費補助金」「木造住宅耐震補強助成事業費補助金」を拡充し、個人住宅への耐震性の向上に継続して取り組みます。
- ・緊急地震速報受信システムを幼稚園や保育所、小学校へ導入します。
- ・浸水常襲地域の流域を対象とした排水路や遊水池の整備、排水ポンプの設置などの基盤整備を継続します。

機能的な都市基盤の整備

- ・都市計画道路の必要性のガイドラインを作成し、都市計画道路の見直しに着手します。
- ・JR袋井駅南口駅前広場へのアクセシブルな道路網の整備や幹線道路の計画的な整備を継続して行います。
- ・暮らしに密着した生活道路の整備に、きめ細かく対応します。
- ・（仮称）大日ほたるの里公園整備事業」「浅羽支所周辺地区エントランス広

- 場整備事業を進め、うるおいと安らぎのある生活空間を創出します。
- ・市営墓地公園整備事業への林地開発などの事前協議を進めます。

経済対策

- ・国や県の補助制度、緊急雇用創出事業などを引き続き積極的に活用します。
- ・「生活困窮相談窓口」や「外国人児童生徒のための教育支援相談窓口」での相談体制や情報提供を充実させます。
- ・ハローワークや社会福祉協議会など他機関との連携を強化し、離職者や生活困窮者の生活不安を取り除きます。

農業の振興

- ・「農業振興ビジョン」により、事業者や市の果たすべき役割と課題を整理します。
- ・農業活性化のため、従来の支援策に加え、農産物の付加価値化を支援します。



工業の振興

- ・「工業振興計画」に基づき、強さと可能性を備えた市内企業群の形成に積極的に挑戦します。
- ・農工商、産学官の連携により、新たな

- 産業の創出や人材育成につなげます。
- ・ものづくりフェスタin袋井を開催し、ものづくりの魅力を市内外にPRします。

商業・観光の振興

- ・「ふくろい遠州の花火」や「B級グルメスタジアムinエゴパ」、子ども中心ふくろい全国だんごまつり」の開催を支援し、「来て・見て・味わう」袋井ファン獲得に努めます。
- ・国本地区の「こぎわい新都心まちづくり事業」では、袋井市にふさわしい土地利用について、引き続き関係機関との協議を進めます。



- ・中心市街地の活性化に向けた実践活動を支援します。

市民運動としての健康づくり

- ・健康運動リーダーや健康づくり推進員、健康づくり食生活推進協議会など様々な皆さんと連携し、各種健康（検診や健康指導を進めます。
- ・「日本一健康文化都市ふくろい」を広くPRするため、WHO健康都市連合日本支部大会を開催します。
- ・「スポーツ文化シンポジウム」を昨年度に引き続き開催します。
- ・「健康」「環境」「交流」をテーマにしたク

- リーンセンターの余熱利用施設「風見の丘」を整備します。

市民が主役として輝くまちへ

- ・「市制施行50周年記念事業」などで、シンポジウムやスポーツイベント、写真コンクールなどに多くの市民が参画し、主役として力が発揮されるように努めます。
- ・日常の健康づくりの場や公園の管理、子どもたちの安全確保など、広い分野を新しい公共の場ととらえ、これまでよりも幅広く多様な市民の力が活きる仕組みを構築します。

**農を活かしたまちづくり
健康田園都市づくり**

- ・本年度は、初期段階の取組みとして、多くの市民の皆さんが、農とかわりを持てる6つの事業に取り組みます。

行政改革の推進

- ・「事務事業の点検」意見交換会など、積極的な情報提供の機会を設け、市民の皆さんとの情報の共有化に努めます。
- ・市民サービスと市税等収納率の向上のため、軽自動車税や上下水道料金のコンビニ納付サービスを始めます。